

白いやきものを楽しむ

平成21年4月25日(土)～7月5日(日) 細見美術館



青白磁瓜型合子



青白磁水注・承盤



白磁印花植物文扁壺

冬の意匠、雪のように冷やかな白。青空に浮かぶ白い雲のように人に安らぎを与える白。清新さ、クールさ、また聖なるイメージを象徴する白色は、自然に溶け込む透明感があり時には他の色を引き立たせる役目も持ち合わせています。

中国陶磁の長い歴史において、「白」という色はようやく生み出された特別な色であり、微妙に異なる白釉の色合いは様々な変遷を辿ってきました。

本展では愛知中国古陶磁研究会のご協力を得て、白磁を中心とした100余点を通して白いやきものの魅力を紹介します。

主催：細見美術館 毎日新聞社(予定)

会期：平成21年4月25日(土)～7月5日(日)

休館日：毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜)

開館時間：午前10時～午後6時

入館料：一般1000円(800円) 学生800円(600円)

※()内は20名以上の団体料金

会場：細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3

Tel / 075-752-5555

お問合せ先：広報担当 三宅 由紀

Tel / 075-752-5555 Fax / 075-752-5955

E-mail / kouhou@emuseum.or.jp

<http://www.emuseum.or.jp>



白磁劃花連花文鉢